

ネフローゼ症候群

診療ガイド Q & A

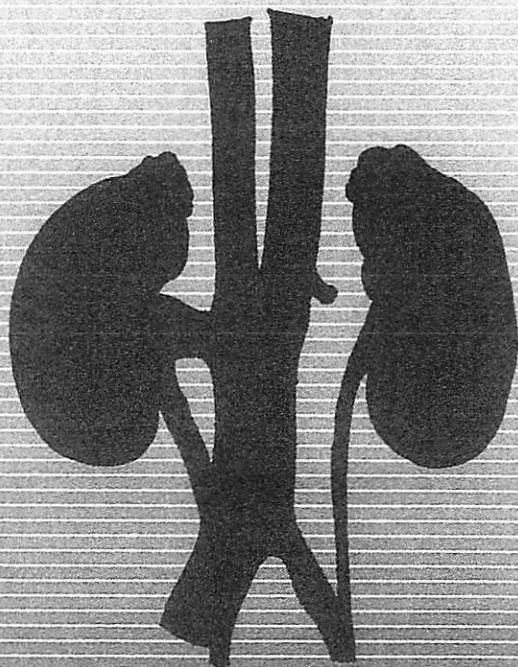
nephrotic syndrome

監修 松尾清一

名古屋大学大学院医学系研究科
腎臓内科学教授

編集 今井圓裕

名古屋大学大学院医学系研究科
腎臓内科学特任教授



Q43 膜性増殖性糸球体腎炎の治療について教えてください。

A 続発性膜性増殖性糸球体腎炎(MPGN)では原疾患の治療が原則です。特発性MPGNではステロイド療法が主体となります。またネフローゼ状態では、浮腫に対する利尿薬や食事療法ならびに腎保護を目的としたレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系阻害薬や高LDLコレステロール血症は正のため、HMG-CoA還元酵素阻害薬を使用します。

続発性MPGNにおいては、C型慢性肝炎をはじめとする各種感染症や自己免疫疾患などの原疾患の治療が原則である。特に、C型肝炎ウイルスの場合、抗ウイルス療法により尿所見が改善することがある。

特発性MPGNに対しては、CKDの一般的な治療方針としてのレニン・アンジオテンシン系阻害薬を中心とした降圧療法、食事療法に加えて、ステロイド療法や免疫抑制薬、抗血小板薬、抗凝固薬の併用が行われているが、成人を対象とした十分なエビデンスはない。

■ 一般療法

ネフローゼ状態のMPGNでは、塩分制限に加えて、浮腫の軽減を目的にループ利尿薬を用い、Na摂取を制限するとともにNa排泄を促進させ、Naバランスの是正を図る。ループ利尿薬だけで効果不十分な場合は、チアジド系利尿薬も併用する。また、尿蛋白減少による腎保護効果を目的としてレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系阻害薬を用い、高LDLコレステロール血症が持続する場合はHMG-CoA還元酵素阻害薬を使用する。さらに、蛋白摂取制限ならびに蛋白異化防止のため十分なエネルギー摂取を行う¹⁾。

■ ステロイド療法

上記一般療法に加えて、特発性MPGNでは、図に示すようにメチルプレドニゾロンパルス療法あるいはプレドニゾロン経口(1 mg/kg/日)を用いてステロイド療法を行い、漸減しながら2年間投与を継続しつつ、アスピリンやジピリダモールを併用する。このほか、ミコフェノール酸モフェチルやシクロホスファミドが試みられることもある¹⁾。

1. 膜性増殖性糸球体腎炎(MPGN)は稀な疾患であるが、腎生検の約6%を占める。
2. MPGN病変はさまざまな疾患の続発性病変としてみられる。
3. 成人例では治療に関するエビデンスは確立していない。

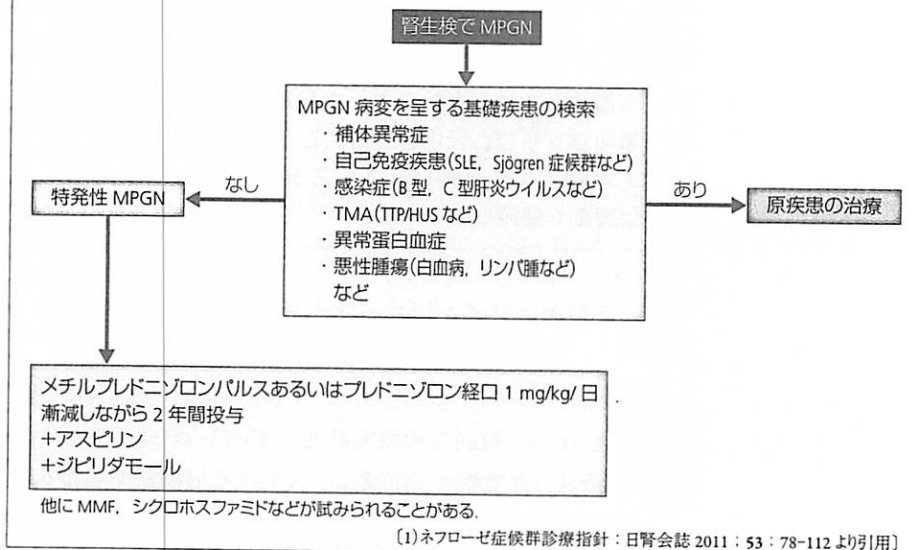


図 膜性増殖性糸球体腎炎の診療指針

MPGN 治療に関するエビデンス

成人の特発性 I 型 MPGN に対する治療方針は、症例数が少ないこと、経過観察期間が長期にわたること等の理由により、確固たるエビデンスはまだ確立していない。小児を対象としたステロイド療法のランダム化比較試験では、腎機能の保たれたネフローゼ状態の特発性 MPGN の患児 80 名を対象に、平均 41 か月間にわたるプレドニゾン 40 mg/m² の隔日内服をプラセボ群と比較し、腎機能保持に対するステロイド療法の有効性が証明された²⁾。成人に対するステロイド療法の有効性は未だ確立されてはいないものの、実際の臨床では、抗血小板薬や免疫抑制薬と併用したカクテル療法が用いられる。ただし、II 型 MPGN に関してはステロイドの有効性は疑問視されている³⁾。

その他、シクロホスファミド等の免疫抑制薬や、ワーファリン、ジピリダモール、アスピリン等の抗凝固薬、抗血小板薬を用いたランダム化比較試験が散見される。

文献

- 1) ネフローゼ症候群診療指針: 日腎会誌 2011; 53: 78-112
- 2) Tarshish P, et al. : *Pediatr Nephrol* 1992; 6: 123-130
- 3) Schwertz R, et al. : *Pediatr Allergy Immunol* 2001; 12: 166-172

(新潟大学医歯学系腎・膠原病内科学(内科学第二) 成田一衛・金子佳賢)

・本書の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社診断と治療社が保有します。

・**JCOPY**（社出版者著作権管理機構 委託出版物）

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、社出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

進行性腎障害診療指針シリーズ

ネフローゼ症候群診療ガイド Q&A

ISBN978-4-7878-1847-8

2011年10月1日 初版第1刷発行

監 修 まつお せいいち 松尾 清一

編 集 いまい えんゆう 今井 園裕

発 行 者 藤実 彰一

発 行 所 株式会社 診断と治療社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 4階

TEL : 03-3580-2750(編集) 03-3580-2770(営業)

FAX : 03-3580-2776

E-mail : hen@shindan.co.jp(編集)

eigyobu@shindan.co.jp(営業)

URL : <http://www.shindan.co.jp/>

振替 : 00170-9-30203

表紙デザイン 株式会社 クリエイティブセンター 広研

印刷・製本 広研印刷 株式会社

©Seiichi Matsuo, Enyu Imai, 2011. Printed in Japan.

[校印省略]

乱丁・落丁の場合はお取り替えいたします。